

ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数確保等に関する意見

再意見提出者	名古屋テレビ放送株式会社
--------	--------------

意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望	
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題	
(3) 関連する国内外の動向と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 800MHz帯は高画質素材伝送や特定ラジオマイク等の伝搬手段として、享受・活用されている。 ①劇場、ホール、競技場、スタジオにおいて特定ラジオマイクを使用した芸能、スポーツ、コンサート、イベントが行われており、文化・芸術に供与されている。 ②UHF帯FPU（フィールドピックアップユニット）による素材伝送は、周波数帯特有の伝搬特性を生かした報道／情報番組／スポーツ中継において見通し外伝送を行え、他の周波数帯とは異なる特性を有している。 ・ 上記①、②の利用者は、連盟に加盟し、周波数利用の事前連絡を行うことにより、干渉の恐れのある場合は協議、運用調整を行うなど組織的な有効利用を行い文化、芸術、スポーツの振興に貢献している。 ・ 長距離移動伝送を求められるスポーツ、イベント中継に対し、瞬断・欠落のないシームレスな技術、ハイビジョンの高密度な画像伝送も新しい技術開発により現在の帯域巾での伝送が確立されつつあるが、より高画質な伝送には広帯域を必要とし、伝送情報量に改善が必要である。 ・ 周波数の有効利用検討は、重要な課題であり、将来への効率利用につながるものである。周波数移行・再編に当たっては、既存システムの社会的役割や、重要性、維持・発展に十分配慮され、社会全体の利益につながる早期整備を要望する。
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	